

領域名：老年保健看護

報告者：山口 初代

---

教育及び実践の課題

---

本学の老年保健看護の教育課程では、看護師の連携について、老年保健看護Ⅰ、老年保健看護Ⅱ、老年保健看護演習、老年保健看護実習Ⅱで取り上げている。高齢者をケアの中心に据え、看看連携の必要性を学び、住民や多職種との連携の実践事例の紹介、サービス担当者の模擬会議の主催、多様なケアの場における実習など、教育を工夫してきた。しかし、住民や多職種との連携に広げ、看看連携に焦点化していないことが課題であった。

---

活用した論文の概要

---

本論文の研究目的は、病院とプライマリヘルスケアとの活動における高齢者ケアをつなぐ看護師の連携に対する意識を明らかにすることであった。その結果、連携について4つの特質として、1) 背景と状況、2) 条件、3) プロセスとインタラクション、4) 高齢者ケアをつなぐ看看連携の結果が明らかになった。これらの4つの特質は、看護連携モデルに概念化された。看看連携における本論文の研究結果は、連携を改善する方向性と機会を提供し、そのことによって、組織間の移行において高齢者ケアの継続性と統合性をもたらすことが示唆された。

---

教育及び実践への活用

---

老年保健看護実習Ⅱ（4年次前期）では、多様な場でケアを受けつつ治療や療養生活をしている高齢者の健康問題を、その家族を含めて総合的に理解し、高齢者の尊厳を支えるための具体的な看護実践が出来る能力と自己をふり返り課題を見いだす能力を習得する。

学生が、治療・療養の場と生活の場の組織間の移行における高齢者ケアの継続看護が学べるよう、多様な高齢者ケアの実習先を準備している。特に、治療・療養の場では、病棟看護師に加え、地域連携室の退院調整看護師や生活の場における看護師と連携する機会を持つようにすることで、看看連携の実践を経験できていることが確認できた。

---

参考文献

---

Terhi Lemetti, Paivi Voutilainen, et al. (2017) . An Enquiry into Nurse-to-Nurse Collaboration Within the Older People Care Chain as Part of the Integrated Care: A Qualitative Study. International Journal of Integrated Care, 17(1):5, 1-11.

---